

1 計画における評価の考え方

- 最初に「東京都子供・子育て支援総合計画」を作ってから、取り組みがどれくらいうまく進んでいるかや、どんな効果があったかを確かめるために、毎年「東京都子供・子育て会議」で専門の人たちが、客観的な立場から意見を出し合って、話し合いや検討をしてきました。
- また、計画がどれくらい進んでいるかについては、それぞれの事業の目標となる数字の変化や、いろいろな調査の結果をもとに、毎年チェックしています。
具体的には、事業がどれくらい実行されたか（アウトプット）だけでなく、どんな成果が出たか（アウトカム）も、会議で決めた指標を使って確認し、今後の取り組みや新しい計画づくりに役立てています。
- 現在の計画も、「東京都子供・子育て支援総合計画」策定等事業推進会議という、東京都の中にある会議で、計画がどれくらい進んでいるかを確認したり、いろいろな部署が協力して話し合いを行います。
そして、計画がどのように進んでいるかをわかりやすく確認するために、「東京都子供・子育て会議」で引き続き話し合いや検討を行っていきます。

2 評価指標の設定の考え方

- 事業の成果をはかるための目安（ものさし）は、計画の考え方や内容に合わせて、目標ごとに決めます。
- その目安は、「どんな成果を目指すのか」をもとに作り、それぞれの達成度がわかるものにします。
- 成果を調べるときは、公平で続けて比べられるように、できるだけ今ある統計データを使います。
難しい場合は、新しく調査を行います。
- できるだけ、毎年確認できる目安を使います。
- できるだけ、数字で表せる目安を使います。
- 他の東京都の計画ともつながりのある目安を使います。